



特許出願済

(アルミ溶湯用浸漬ヒータ)

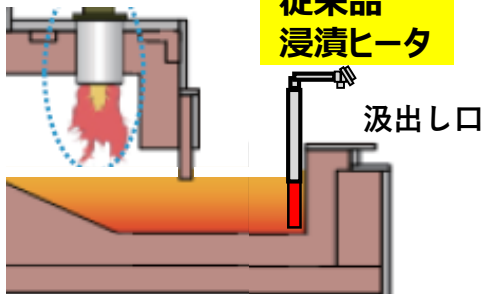
# ALHYPER "L"

アルミ溶湯の汲出し口に設置  
L型により低湯面にも対応が可能  
加熱効率の高い浸漬ヒータで保持エネルギーを削減

ポイント

## 1 L型ヒータにより出力UP

従来の浸漬ヒータ



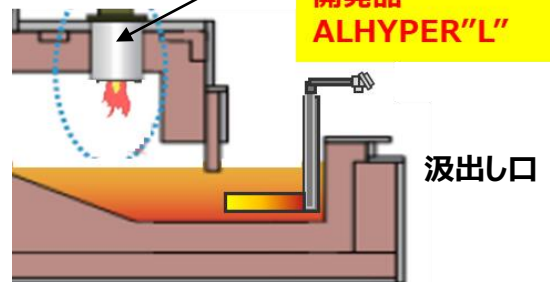
従来品  
浸漬ヒータ

汲出し口

ヒータ出力を上げたい

- ⇒ 発熱長を長くする必要がある
- ⇒ 湯面から発熱部が出ると断線する
- ⇒ ヒータ出力に限界がある (低出力)

開発品L型ヒータ



保持バーナ出力削減

開発品  
ALHYPER "L"

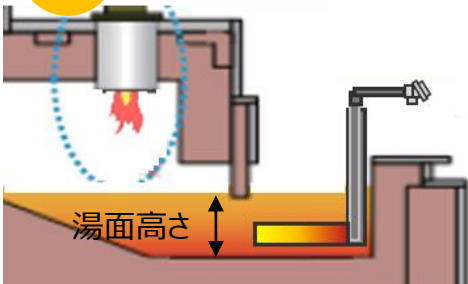
汲出し口

L型により出力向上

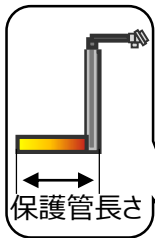
- ・L型化により、湯面変動の影響を受けにくい
- ・発熱部が溶湯内のため長くできる
- ⇒ ヒータの高出力化が可能

ポイント

## 2 低湯面对応が可能



湯面高さ



保護管長さ

- ・最低湯面高さわずか**150mm!**
- ・湯面の浅いコンパクト炉に最適

仕様

	ALHYPER "L"	
電源	単相200V	
出力	6kW	10kW
発熱長	250mm	400mm
保護管長さ	約410mm	約610mm
チューブ径	φ60	

ホームページよりお気軽にお問い合わせください。



生産工程の改善のヒントがここに

開発一体型 検索

各種要素技術や導入事例についてご紹介

(アルミ溶湯用浸漬ヒータ)

# ALHYPER"MAX"

アルミ溶湯の汲出し口に設置  
短発熱長で高出力化を実現  
溶湯量の多い保持炉でエネルギーを削減

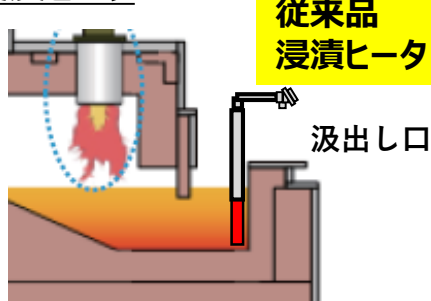


特許出願済

ポイント

## 1 短発熱長かつ高出力

従来の浸漬ヒータ



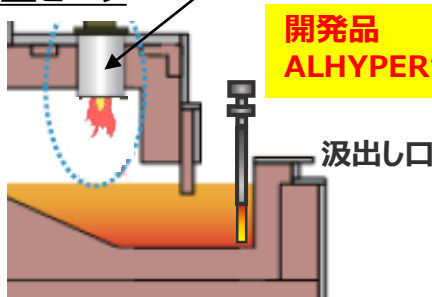
従来品  
浸漬ヒータ

汲出し口

ヒータ出力を上げたい

- ⇒ 発熱長を長くする必要がある
- ⇒ 湯面から発熱部が出ると断線する
- ⇒ ヒータ出力に限界がある (低出力)

開発品L型ヒータ



保持バーナ出力削減

開発品  
ALHYPER"MAX"

汲出し口

短発熱長かつ高出力化

- ・従来品から発熱体を見直し高出力化
- ・発熱長：250mm、出力：20kWを実現
- ⇒ 大容量への溶湯ヒータとして適用可能

ポイント

## 2 耐久性の向上



発熱体見直しにより、  
従来品より耐久性を向上※

※ 耐久性は現在も経過確認中

仕様

	ALHYPER"MAX"
電源	単相200V
出力	20kW
有効 発熱長	250mm
チューブ径	Φ60

ホームページよりお気軽にお問い合わせください。



生産工程の改善のヒントがここに

開発一体型 検索

各種要素技術や導入事例についてご紹介